

シルバーあみ

第168号 令和3年5月27日発行

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
広報委員会

住所 〒300-0331

稲敷郡阿見町阿見4671-1

TEL 029(888)2036

FAX 029(840)2486

URL (ホームページ) <https://webc.sjc.ne.jp/ami/>

会員数 331名(4月30日現在)

男 240名 女 91名

安全就業スローガン

- ・チョットまで 作業の手順 手を抜くな!
- ・無災害 個々の意識が 実を結ぶ



令和3年度 定時総会のお知らせ

1月25日(月)の定例理事会で、令和3年定時総会を6月24日(木)に開催することを決定しましたので、お知らせします。

なお、6月上旬に開催通知状と議案書をお届けしますので、その際に、コロナ禍の状況を見極め、昨年の総会と同様に「議決権行使書提出」方式とするか「本人出席」方式とするかを、開催場所とともにお知らせいたします。

理事会

○令和3年1月25日(月)令和2年度第7回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 賛助会員入会の承認について
- 3 令和3年度センター主要会議開催計画(案)の承認について
- 4 規程等の改定の承認について

○令和3年3月22日(月)令和2年度第8回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 令和3年度事業計画(案)の承認について
- 3 令和3年度収支予算(案)の承認について
- 4 特定費用準備積立資産の取崩しの承認について
- 5 定款の変更の承認について
- 6 規程等の改定の承認について
- 7 入会面接選考の手引きの改定の承認について
- 8 役員等賠償責任保険契約締結の承認について

○令和3年5月21日(金)令和3年度第1回理事会が開催され、次の議案が審議承認されました。

- 1 正会員入会の承認について
- 2 役員・委員候補者の選考について
- 3 令和3年度定時総会の開催(案)について
- 4 令和3年度定時総会議定書(案)について
- 5 規程の改定について

事務局

○ 阿見町シルバー人材センターの設立30周年について

今年度、阿見町シルバー人材センターが設立30周年を迎えました。30周年に当たり、記念事業を考えていますので決まりましたら改めてお知らせいたします。

○ 新型コロナウイルスワクチン接種について

5月10日(月)より新型コロナワクチン接種の予約が開始されました。すでに予約を済まされた会員の方もいらっしゃると思います。就業に際して何かとお客様と接する機会の多い職場がほとんどだと思います。感染しない・感染させないためにも新型コロナワクチンを接種しましょう。

つきましては、お手数でも2回の接種が終了した会員には事務所まで報告をお願いいたします。



○ 令和3年度の会員会費の納入について

令和3年度の会員会費が未納の方は、5月31日(月)までに納入をお願いします。会員会費規程では、「毎年5月末日までに納入するものとする。」となっていますのでよろしくお願いします。

脳トレコーナー

ここでちょっと遊びながら、集中力や論理的思考力を高めましょう！

考えることが認知機能を衰えさせないために有効です。頑張ってみましょう。

①書いてある数字をヒントに、全部のマスを数字で埋めていきます。

②同じタテ、ヨコの列、そしてそれぞれのマスに1～6の数字がひとつずつ入るように数字を当てはめます。

③答えは最後のページにあります。

<問題=1>

6				4	
5	4	3		2	6
3		1	2	6	
2		4		1	3
4	2	5	6		1
1				5	2

<問題=2>

	1				6
		3		5	
	3			6	
2					3
	4		6	1	2
			5	3	4

<問題=3>

				6	3
5	3				
6			1		2
	1	3			5
				2	
			4	5	6

会員の広場 《ふるさと自慢》

私の「ふるさと」は松任（まっとう、現白山市）。“ふるさとは遠きにありて思うものそして悲しくうたうもの・・・”（室生犀星）の如く、故郷を離れて長くなりますと、何か物悲しい思い出の地となりつつあります。松任には前田利長が城主をつとめた松任城の城跡があり、江戸中期に女流俳人として名声を博した「加賀の千代」の生誕地でもあります。“朝顔に釣瓶（つるべ）とられてもらひ水”は、皆さんもお聞きになったことがあるかと思います。今でも盛んに学校で、俳句がつくられ大会も開かれています。そして、圓八（えんぱち）の笹に包んだあんころ餅が絶品です。280年の歴史があり、天狗があんころのレシピを教えたというエピソードがあり、私の大好きな一品で、田舎に帰ると必ず買って帰ります。

また、松任から20分程で、100万石の城下町金沢市に着きます。最近の観光スポットは、アート旅の定番！カメラ片手に訪れたい「金沢21世紀美術館」、美味しいものが大集結の「近江町市場」、日本屈指の名庭園「兼六園・・・入園有料になってしまいました」、花街を再興し風情ある街並みにした人気スポット、蔵やトイレまで金箔にした「ひがし茶屋街」、2001年に金沢城の一角に再建された



「菱櫓、五十軒長屋」など見所沢山あります。食を求めるならば、冬場の料理がお勧めです。

お時間のある方は、能登に足を延ばして、輪島の夕日を見ながらの陣太鼓、朝市などを楽しんで、和倉温泉で旅の疲れを癒されてはいかがでしょうか。



会員 中西 和紀



●新しい会員の紹介（令和3年1月1日～4月30日）12名

会員番号	氏名	行政区	会員番号	氏名	行政区
1600	安江 とも子	上 長	1606	蛭原 まり子	曙 東
1601	篠山 茂夫	鈴 木	1607	飯村 恒男	実 穀
1602	藤井 健次郎	南平台3	1608	坪田 博	追 原
1603	石塚 伸子	中央西	1609	野口 洋子	鈴 木
1604	木村 吉伸	西 方	1610	飯塚 富雄	二区北
1605	小野寺知恵子	南平台1	1611	横山 孝雄	中郷東



一口メモ

○ コロナウイルスと日常生活

新型コロナウイルス感染症が騒がれてから、はや一年が過ぎました。一般のご家庭では、感染に注意して外出は極力控えているのですが、毎日の生活必需品を購入しなければなりません。一部では通信販売を利用されているご家庭もあると思いますが、大部分のご家庭ではその都度スーパーマーケットに出かけて買い物をしていることでしょう。我が家では町内のスーパーはもとより、美浦村、稲敷市、江戸崎町、牛久市、土浦市、



つくば市にも出かけて買い物をします。この一年間幸いにも我が家は、新型コロナウイルスに感染しないで無事に過ごす事ができました。

これまで、我が家が出かけたこれらのスーパーでは新型コロナウイルスの感染は聞いたことがありません。もちろん、お客全員がマスク着用、入店時及び出店時に手の消毒をおこなっています。ある大型店では入店時だけでなく、各店舗の入り口にも消毒液を備えていました。

しかしながら、阿見町を中心にしたスーパーマーケットや近隣の大型量販店では新型コロナウイルス感染症発生時から一年以上も誰かが感染したというニュースがないのは新型コロナの感染は別の世界に思えてならないのは私だけでしょうか？

そうはいつでも、感染防止のための注意、消毒は怠ってはならないのは言うまでもありません。会員の皆様におかれましても、どうかくれぐれも感染しないようお気を付け下さい。

広報委員 安西 律子

○ シルバー卓球

卓球は中学生の時にやっていたきり、久しぶりに再開して2年ぐらい経ったでしょうか。ただし、新型コロナの影響で出来ない期間がありました。

地区のシルバークラブの仲間たちと同好会をつくり、旧実穀小学校の体育館で週1回ですが楽しく行っています。シルバーが行うので一般で使うボールより少し大きく（ラージボール）、ネットの高さも一般のものより2cm高くなっています。シルバーの大会で全国3位になった先生に教えていただいています。79歳で初めてラケットを握り驚くほど上達して「楽しくてしょうがない」と言っている仲間もいらっしやいます。小さい時から始めていたらオリンピックに出られたかもと冗談を言って笑っています。このような状況で東京オリンピック・パラリンピックが開催されるかどうかわかりませんが、卓球競技に限らず出場する日本選手の活躍を見られるのが楽しみです。



事務局 柳生 昌宏

らくとうかい

【楽陶会が活動中】

昨年10月に、「シルバーあみ第166号」にて『和気あいあい陶芸を楽しむ「阿見町楽陶会」』が発足したことを紹介いたしました。その後の活動状況などリポートさせていただきます。

会長の鷹野さんは、「上毛かるた」に『雷と空風 義理人情』と記される上州は群馬県高崎市出身。大変男気のある方で、現在「阿見町シルバー連合会」でご活躍中です。

楽陶会は、昨年7月下旬にメンバー10名で発足したのですが、新型コロナウイルスの影響により、活動拠点である「本郷ふれあいセンター」が暫くの間休館となったり、「外出自粛」等で、発足早々休止状態に追い込まれ、思うに任せぬ日々を送っておりました。この間会員の皆様方には不要不急の外出を避け、マスク・手洗い・3密を回避しながら、ご自宅で陶土を捏ねたり、陶芸の書誌を読むなど、自己研鑽を怠ることなく過ごしておりました。

コロナ感染症予防対策の成果により、外出自粛が緩和されたり、本郷ふれあいセンターのアトリエ利用が可能となり、活動が順調に行われるようになりました。

作陶中のアトリエを覗きますと、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、窓開け換気を十二分に行いつつ、会長の懇切丁寧なご指導を受けながら、セッセッセと作品作りに励んでおりました。



陶芸は、手指を使って土を成形するので、脳が活性化されるとともに、筋肉や神経の動きを良くして、認知症を予防する効果があります。なるほど、会員の皆様が若々しくお元気でいらっしゃるわけが、こんなところにあるのだなと納得させられました。

鷹野会長のお人柄は勿論、会員の皆様が楽しそうに作陶される雰囲気誘われてか、新規会員が3名加わり、会は大盛況の状況です。

陶芸は、作陶⇒素焼き⇒本焼きのサイクルで行われるのですが、この3月下旬で2回目の本焼きが完了しました。

窯出した作品には「ぐい呑み、蕎麦猪口、小皿、コーヒーカップ、お人形さん、孫カップ(お孫さん用のマグカップ)・・・」等々が、テーブル一杯に並びました。完成した作品を手にとりながら、「陶土がどうの、釉薬がこうの、手作り感が有って云々」等と、和やかに陶芸談議・孫談議の花を咲かせておりました。

また、『チャリティー販売や、近い将来にはシニア世代の美術展である「いばらきねんりん文化祭」の「わくわく美術展」に作品を出展することを目標にして活動を続けたい』との熱い思いを込め、陶土を捏ねておりました。

「現在、若干名の新規会員を募集しております。第2・第4水曜日の午前中、本郷ふれあいセンターのアトリエで活動していますので、興味のある方は手ぶらで来てください。陶土を無料で差し上げます。必要な道具もお貸しします」とのことでした。

尚、問い合わせ先は、鷹野さん、今井さん、落合さん(029-875-6950:阿見町シルバー連合会)までお願いいたします。

広報委員 阿部 英次

脳トレコーナー解答

<解答=1>

6	1	2	3	4	5
5	4	3	1	2	6
3	5	1	2	6	4
2	6	4	5	1	3
4	2	5	6	3	1
1	3	6	4	5	2

<解答=2>

5	1	4	3	2	6
6	2	3	4	5	1
4	3	1	2	6	5
2	5	6	1	4	3
3	4	5	6	1	2
1	6	2	5	3	4

<解答=3>

1	4	2	5	6	3
5	3	6	2	1	4
6	5	4	1	3	2
2	1	3	6	4	5
4	6	5	3	2	1
3	2	1	4	5	6

